

西九条駅周辺における新たな魅力創出と賑わいづくりの取組みについて

【現状】 U S J への来訪客が此花区内部を素通り⇒夢洲（万博・ I R）の来訪者についても此花区内部を素通りする恐れ

【課題】 万博のご当地として、万博を契機にまちを活性化する必要がある

【取組】 U S J への来訪客を含めた人流の結節点である西九条駅、とりわけ阪神なんば線から J R 線への乗り換えにより来訪者が移動する機会を狙い、西九条駅周辺に足を向けてもらえるような魅力的な仕掛けづくりをおこなうことにより、区内部に訪れる人を増やしまちの賑わいを創出していきたい

【具体的な手法（案）】

①ターゲット

U S J などを目的として区内に来訪する鉄道の利用客（インバウンドによる海外からの来訪客も）
⇒阪神なんば線から J R 線への乗り換えにより来訪者が足で移動するタイミングを狙う

②仕掛けづくりの場所

J R 西九条駅周辺のエリアとする
また、正蓮寺川公園（阪神千鳥橋駅に近いエリア）においてアートプロジェクトを実施していることから、阪神千鳥橋駅にまで足を延ばしてもらおうべく、特に西九条駅から北側に仕掛けづくりのエリアを拡大していきたい

③仕掛けづくりのコンセプト

- ・思わず撮影をしたくなるような「SNS 映え」する景色・景観づくりをおこなう
- ・インバウンドによる外国人来訪者がつい足を向けたくなるような「日本文化」や「独自性」、「和」をモチーフとする

【仕掛けづくりのイメージ】



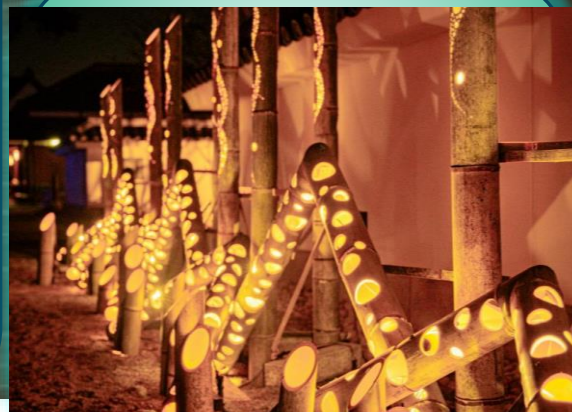
大阪市 天満



広島県竹原市



熊本県玉名市



京都府京都市



兵庫県高砂市



静岡県袋井市（夜宵プロジェクト）



岡山県倉敷市



福井県大野市

1 正蓮寺川公園アートプロジェクトにかかるこれまでの経過

区役所が地域や区民の方々との対話や意見交換などを重ねる中で、此花区の現状と課題を把握するとともに、課題の解決に向け積極的に取り組んでいくため、令和3年度より区長を含めた区役所内での協議を随時実施

【現状】 U S J への来訪客が此花区内部を素通り⇒夢洲（万博・I R）の来訪者についても此花区内部を素通りする恐れ

【課題】 万博のご当地として、万博を契機にまちを活性化する必要がある

【取組】 区内に著名なアーティストのみならず地元のアーティストなどども活用したパブリックアートを設置し、外部から訪れる人を増やしまちの賑わいを創出することで、U S J・万博への来訪者を此花区内部に引き込みたい

区として、実施体制・予算の考察・アートの選定方法・区民の方々への周知などの様々な事項について方向性を定めながら正蓮寺川公園へのパブリックアート設置（アート公園化）について進めていくこととした。

令和4年度以降随時実施

- ・ 区政会議や正蓮寺川・六軒家川環境整備推進協議会などの場で、アートプロジェクトを周知・説明
- ・ アート関係者や有識者などへの意見聴取や相談を図りながら、アートプロジェクトのコンセプトや実施体制・構想等を検討

令和5年度に実施

- ・ 正蓮寺川公園アートプロジェクト構想を策定
- ・ 正蓮寺川公園に2作品（此花水龍・万博ロゴシンボル）を設置、お披露目イベントを実施

令和5年度 アートプロジェクト本格実施前年度

1 此花水龍

制作・設置及び発信(PR)経費 2,500万円⇒うちアート制作・設置費 1,940万円

<予算内訳>

- ・区政推進基金 1,040万円(寄付項目:正蓮寺川公園を中心としたまちづくり)
- ・環境創造基金 900万円(夢洲メガソーラー事業者からの寄付金)
- ・万博重点予算 560万円

2 2025年大阪・関西万博ロゴシンボル

ア)アート制作・設置経費 1,940万円

イ)お披露目イベント経費 179万8千円

<予算内訳>

- ・万博重点予算 2,119万8千円

令和6年度 アートプロジェクト本格実施年度

○パブリックアート

制作・設置及びお披露目イベント経費 2,240万円⇒うちアート制作・設置費 1,940万円

<予算内訳>

- ・万博重点予算 2,240万円

3 正蓮寺川公園アートプロジェクトの検証と評価

①効果測定（その1）

インターネットやSNS等によりアートプロジェクト関連の記事公開の状況を調査

・此花区HPにおけるアートプロジェクト関連記事の閲覧数

	大阪市此花区：正蓮寺川公園アートプロジェクト konohana permanentale 100+（このはなくのまちづくり>正蓮寺川公園を軸にしたまちづくり） (osaka.lg.jp)	大阪市此花区：パブリックアート「此花水龍」が設置されました！（このはなくのまちづくり>正蓮寺川公園を軸にしたまちづくり） (osaka.lg.jp)	大阪市此花区：パブリックアート「2025年大阪・関西万博ロゴシンボル」が設置されました！（このはなくのまちづくり>正蓮寺川公園を軸にしたまちづくり） (osaka.lg.jp)
3月	2,227	—	—
4月	1,451	2,364	170
5月	295	287	61

・「此花水龍」作品発表会の開催にかかる報道関係者への発信

<報道関係各位に対し取材案内を発信>

- ① (TV89媒体、ラジオ7媒体、通信社・新聞33媒体、雑誌・フリーペーパー118媒体、WEB157媒体、海外、その他18媒体)
⇒ **4 2 2** 媒体
- ② 大阪市市政記者クラブ
⇒ **1 9** 社 (朝日新聞、ABCテレビなど)



<作品発表会当日の報道陣の参加>

⇒ **1 6** 社 **3 0** 人

主な取材業者：読売テレビ、ABCテレビ、関西テレビ、毎日放送、読売新聞、産経新聞、日刊スポーツ新聞、小学館、共同通信社、ORICON NEWS、デイリースポーツ、スポーツ報知、サンケイスポーツ、Lmaga.jp等

<報道関係の各種掲載記事>

大阪：此花水龍 世界へ飛び出せ...岡田准一さんプロデュース：地域ニュース：読売新聞 (yomiuri.co.jp)

その他、多数の記事の掲載履歴あり



・岡田准一氏（アートプロデューサー）及び小松美羽氏（アーティスト）のSNS投稿



【岡田准一氏のポスト】

リポスト **7,530件**
いいね **約57,000件**



【小松美羽氏のポスト】

リポスト **340件**
いいね **1,194件**

②効果測定（その2）

G P Sデータによる正蓮寺川公園のパブリックアート2体の設置エリアにおける人流・ 滞在者数等を把握

（KDDI Location Analyzerを活用しているため、KDDI系端末の携帯等を所持している方のみ把握可能）

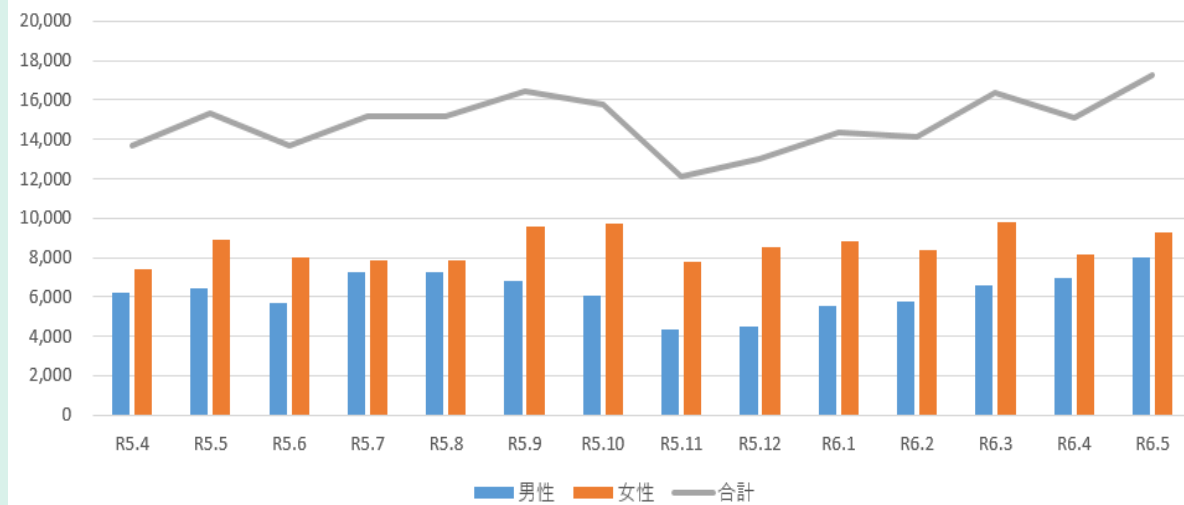


・パブリックアート2体の設置前後における検証

令和5年4月から令和6年5月までの間において、特にパブリックアート2体（令和6年3月27日及び30日に設置）の設置前後におけるアート設置エリア周辺への来訪者数及び来街者数（此花区外からの来訪者）を調査

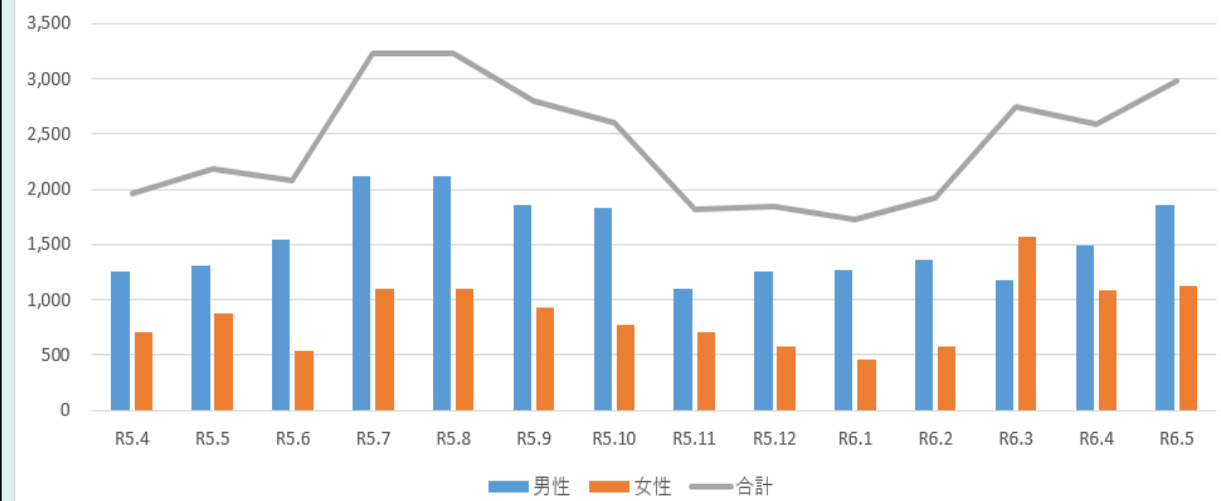
<令和5年4月から令和6年5月までの来訪者数>

1か月ごとのパブリックアート展示エリアへの来訪人数比較
（R5.4～R6.5）



<令和5年4月から令和6年5月までの来街者 （此花区外からの来訪者）数>

1か月ごとのパブリックアート展示エリアへの来街者
【此花区外からの来訪者】比較（R5.4～R6.5）



➡ 現時点では来訪者・来街者ともに、パブリックアート設置に伴う急激な増加は見られない

※今後もパブリックアート設置前後における人流・滞在者数等を調査し分析していく

【参考】今回の調査対象エリア（赤枠）



③評価

- ・アート作品の制作・設置やお披露目イベント等の開催により、特に「此花水龍」を軸として正蓮寺川公園アートプロジェクトが多数のメディアやSNS等で紹介され、プロジェクトの周知・PRとしては一定の成果を挙げたと考えている
- ・また、GPS機能を活用した効果測定によれば、令和5年度に設置したパブリックアート2体の設置による来訪者の著しい増加は見られない、という結果であった

正蓮寺川公園アートプロジェクトにかかる今後の取組方針

アート作品の展示

- ・令和5年度の2作品に続き、令和6年度もアートを設置予定（事業者選定済）
- ・令和7年度は万博会場の建造物（モニュメント）の移設を検討していきたい
- ・それ以降は寄付での制作・設置や地域企業、団体による自主的なアートがなされることを目指し、その土壌を培っていく

広報等による発信・PR

- ・令和6年度以降も、アート関連イベントなどを通じて区民や地域の方々にアートプロジェクトについて周知し、理解を深めてもらえるような企画を実施していきたい
- ・アート作品の設置やお披露目イベントなどについて広報誌や此花区SNSで積極的に発信を行ってしていきたい

区と区民・地域が一体となった取組へ

- ・広報等を通じた区民・地域の方への理解・認知度の向上、またアートイベント等への区民・地域の方の参加
⇒区民・地域の方に楽しんでもらい、正蓮寺川公園とアート作品に愛着や誇りに思ってもらうきっかけとしたい

地域や区民の方にアートプロジェクトやアート作品に愛着や誇りを持ってもらい、アートプロジェクトを「行政」だけではなく、「区民・地域」と一体となって進めていくことで、アートプロジェクトが今後長年かけて継続していくものとしていきたい

今後の取組に向けた役割分担

【アート作品の制作・設置】

①地域企業・団体による制作・設置

②区が寄付金により制作・設置

【アート作品の維持管理】

①地域企業・団体による維持管理の実施

②区が寄付金による維持管理を実施

【アート関連イベントの開催】

区と地域団体・区民が協働で開催



(単位：千円)												
項目		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
財源	夢洲メガソーラー寄付金	9,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	区政推進基金	10,400	0	アートプロジェクトに賛同する団体・区民等からの寄付								
					万博会場からのモニュメント移設経費							
事業費	パブリックアート制作・設置費	19,400	0	3,000	区政推進基金を活用したパブリックアートの制作・設置 企業等によるパブリックアートの制作・設置							
	アートプロジェクトにかかるイベント経費	0	1,988	区と地域団体・区民と協働による定期的なイベントの開催								
	パブリックアート損害保険・防犯カメラ等	0	382	382	382	382	382	382	382	382	382	382
	パブリックアート修繕経費	0	630	248	2,866	5,484	8,102	10,720	13,338	15,956	18,574	21,192
※不要額について次年度以降に積み立て												